

東北の復興を担う地元キーパーソン育成・支援活動

生まれ育った仙台地域を、みんなの力で、
再生しようとする人（キーパーソン）のパワーアップを支援します

昨年3月11日に発生した大震災と津波は、この地域の多くの人々に大きな悲しみと困難をもたらす未曾有の大惨事となりました。

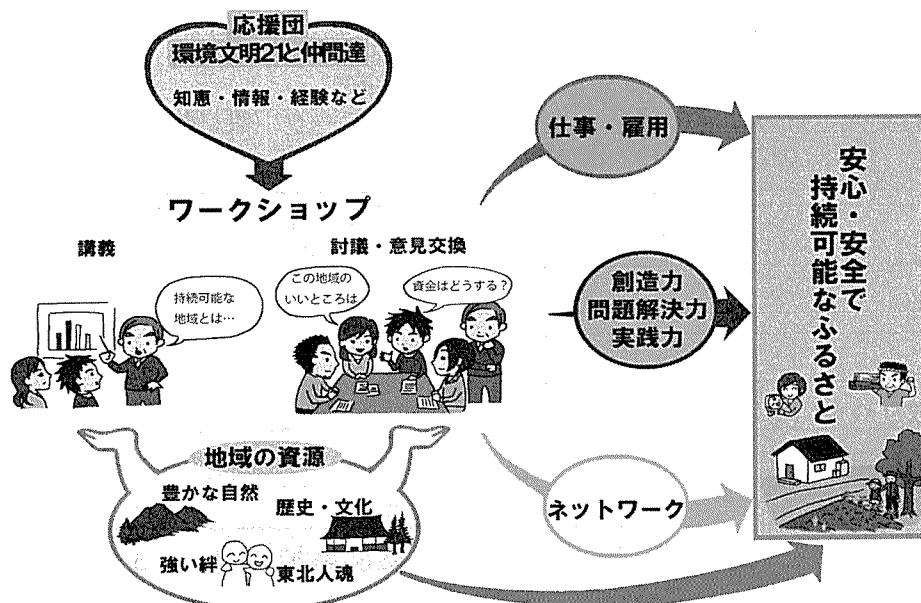
そうした中、永年環境問題に取り組んできた私たちは、その悲しみや困難を少しでも和らげるために、より良い地域の再生のために何ができるだろうかを真剣に考えてきました。

そして、これからの再生の長い道のりの中で、「子ども達に安心・安全で、心豊かに暮らせる地域を残したい」という思いや20年50年後を見る先見性を持ち、地域の歴史・文化・自然、人々の絆といった地域の宝・資源をうまく活かし、仕事（雇用）や暮らしにもつなげながら、継続的に地域づくりに関わっていく『地元キーパーソン』を育成し継続的に支援していくことが、現地でも求められているのではないかと考えるようになりました。

このプロジェクトは、そうした地元キーパーソンが、様々な課題に立ち向かい解決する力、外部からの情報や知識をより良い地域づくりにつなげる実践力、地域にある資源を掘り起こし活用する智恵を、専門家の力も借りながら自ら磨き上げていくことを支援するものです。

「この地域を何とかしたい」と思う方のご参加をお待ちしています！！

- 対象者：仙台市周辺の自治体職員、NPOスタッフ、若手経営者、企業人、起業を考えている若者、学生など、地域の復興を主体的に担おうとする意欲のある方（キーパーソン）
- 募集人数：25－30名（原則全回参加ですが、部分参加も可。但し応募が30名を超える場合は全回参加可能な方を優先します。）
- 募集期間：2月6日（月）～3月31日（土）まで
- 申込方法：申込用紙に記入のうえ、郵送、FAX、E-Mail のいずれかでお申し込み下さい。用紙は環境文明21のホームページ（<http://www.kanbun.org/>）からダウンロードできます。
- ※参加費は無料です。また参加に要する交通費の一部を必要に応じて補助し（往復1500円まで／市内地下鉄・バス利用可能なプリペイドカードでの支払い）、弁当は事務局負担で準備します。



本事業は、三井物産環境基金の助成を頂き、NPO 環境生態工学研究所、(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、仙台市のご協力を頂いて実施しています。

ワークショップ (WS) の概要と話題提供者

回	日時	場所	テーマと内容	話題提供者 (敬称略)
1	4月 13日 (金)	仙台市市民 活動サポ ートセン ター 研修室5	被災地からモデル都市へ どんな地域を子ども達に残すの？ 地域の資源は？課題は？等、6回 のWSの概要を共有する	結城登美雄 (東北の歴史・文化・人々 の営みなどから地元の智慧を伝授) 内藤正明 (京都大名誉教授/環境に配 慮した地域づくりの専門家)
2	6月 1日 (金)	仙台市市民 活動サポ ートセン ター (予定)	エネルギーは地域で作ろう この地域にあるエネルギー資源や それを活かす方法、雇用の可能性 などについて考える	原亮弘 (飯田市おひさまファンド代表 /設立・運営・資金調達の方法を伝授) 樋屋治紀 (システム技術研究所長/エネルギ ーの専門家で再生可能エネルギーの先駆者)
3	7月 6日 (金)	仙台市市民 活動サポ ートセン ター (予定)	人と環境にやさしい地域交通 仮設住宅からの移動や、高齢・過 疎化が進む地域での、人と環境に やさしい移動方法や雇用を考える	吉澤武彦 (日本カーシェアリング協会代表/ 石巻でのカーシェアリングの実践を紹介) 元田良孝 (岩手県立大教授/コミュニテイバ スなど地域交通の専門家)
これ以降は現時点での予定です。参加者の皆さんの要望も取り入れ変更の可能性もあります。				
4	9月 上旬 予定	未定	地域資源を活かした緑の雇用 地域の環境資源を活かして雇用を 生み出した人から事例を聞き、グ リーンツーリズムなど、この地域 での可能性を考える	渡辺孝 (芝浦工大教授/社会的企業の 専門家、事業化の方法を伝授) 事例：いわき市フラガール (地域雇 用)、くりこま自然学校 (若者雇用) など
5	10月 中旬 予定	未定	身近な環境保全も市民の力で 水環境の保全やゴミ処理は市民に もできる？そこに雇用の可能性 は？など、「みんなで担う公共のあ り方」と可能性について考える	田中靖訓 (リマテック㈱副社長/陸前高田、 大船渡でのがれき処理と地元雇用の 実態を紹介) 山田一裕 (東北工業大教授/水環境の 専門家)
6	11月 下旬 予定	未定	まとめと提案 全5回のテーマごとの提案、地域 資源を活かし地域の皆が幸せにな る働き方の提案などを作成する	未定
全回を通じてサポートする人 加藤三郎 (環境文明 21 共同代表/環境問題の専門家、幅広い視点からアドバイス) 藤村コノエ (環境文明 21 共同代表/環境教育・人材育成の専門家、全体の進行役)				

※ 毎回、午前 (10~12 時) は実践家や専門家の話を聞き、午後 (13~17 時) は
話題提供者も含む全員で解決策や方向性、雇用の可能性などについて話し合います。
(受付は9時30分から)

申込先・内容についての問合せ先：NPO法人環境文明21 担当：藤村、木科 (きしな)
 TEL:03-5483-8455 FAX:03-5483-8755 E-Mail:kishina@kanbun.org
 住所：145-0071 東京都大田区田園調布 2-24-23-301
 ホームページ <http://www.kanbun.org/>
 地元問合わせ先：(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) 担当：菅田 (すがた)
 TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713 E-mail:melon@miyagi.jpn.org

申込用紙 (仙台会場)

ふりがな
お名前

ご所属

ご住所 〒

電話番号 * 連絡の取りやすい番号

FAX 番号

このワークショップに期待するもの

参加のご予定 1. 全回参加予定 2. テーマにより複数回参加予定 3. () 回目だけ
4. 現時点ではわからない

交通手段 1. バス 2. 電車 3. 自家用車 4. その他 ()

その他特記事項ありましたらご記入ください